

令和4年度 学校評価アンケート結果報告

今年1月に実施した学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。以下の通りご報告いたします。早期に改善できるものは速やかに改善するとともに、結果やご意見を来年度の教育課程に生かしてまいります。

1 アンケート数値結果 ※下段は昨年度との比較

		挨拶	歌声	清掃	表現力	家庭学習	PC活用	読書	生徒指導	教育相談	自他の肯定	運動	朝ごはん早起	交通安全	防災防犯	情報発信
肯定的回答者	児童	93.0 +0.2	85.9 -2.9	92.1 -0.1	80.1 +0.3	79.8 +2.3	89.9 -0.2	74.3 -1.8	83.3 +1.5	93.0 -1.9	87.4 +1.3	81.5 -1.0	95.1 -0.9	—	—	
	保護者	86.6 -1.7	91.6 +3.3	88.6 +0.6	80.1 ±0	67.6 +4.3	76.9 +6.1	57.2 +5.4	83.5 +1.4	93.0 +1.9	75.1 -2.6	84.7 +0.2	86.9 -0.7	89.8 -3.4		
	職員	85.3 +2.8	87.6 +10.7	83.0 -2.0	95.1 +2.8	80.5 +1.0	95.1 +2.8	75.6 -1.3	100 ±0	100 +5.1	92.7 +8.1	75.6 -14.4	90.2 -4.8	95.1 +2.6		

◇「肯定的回答者」…4段階評価の4及び3(肯定的回答)を選んだ人数の割合(%)

◆太枠の項目…肯定的回答が90%以上のもので、概ね達成できたと思われるもの

2 各項目の考察及び自由記述欄のご意見

※…自由記述欄の主なご意見

〔挨拶〕

挨拶については、学校の重点目標と位置づけています。生活委員会が中心となって取り組んでいる挨拶運動の影響もあり、校内では元気に挨拶をする児童が増え、肯定的回答も高くなっています。しかし、保護者及び教職員の評価とは差がありますので、校内での挨拶にとどまらず、交通指導の保護者の方や日頃お世話になっている地域の方へ自ら進んで挨拶できるよう、今後も粘り強く指導してまいります。

※旗振り当番で立っている時に挨拶をしても、返してくれない子供達が多いのが残念。

〔歌声〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、歌声活動については長期に渡り制限されていましたが、今年度は、感染対策を講じた上で、通常の活動に近づくよう取り組んできました。マスクを着用しての歌声活動でしたが、朝の会や音楽の学習で元気よく歌うことができる等、職員の肯定的回答が高くなりました。今年度も南部小音楽週間を設定し、各学級で合唱や合奏を動画撮影して鑑賞し合ったことは、保護者の方々にも評価されたと考えております。今後も感染防止対策を十分に取っながら、工夫して歌声活動を実施していきたいと思えます。

※コロナで歌えなくなり、少しずつ歌えるようになってきた。が、合唱は昔の方が盛んだった。合唱が戻ってほしい。

〔清掃〕

朝のボランティア清掃に意欲的に参加する児童が多く見られ、落ち葉掃きや校舎内の掃除に進んで取り組む姿が見られました。また、時間通りに清掃を始め、時間内に清掃を終わらせる児童が増え、校内の環境美化への意識も高くなりました。しかし、清掃に関係のない話をせずに取り組むことについては、課題が残りました。児童が集中して考えながら清掃できるよう、引き続き指導していきます。

※掃除はまじめに行う子供と先生がいなくなるとさぼる子供がいると複数の児童から聞いた。

〔表現力の向上〕

今年度は、感染防止対策を施しながら、グループやペアでの話し合い活動を積極的に取り入れるようにしました。自分の考えをノートに書くことの指導(ノートコンクールを推進)も継続して行い、表現力の向上に努めています。自分の考えをノートに書いたり、クロームブックのジャムボード機能を使って意見を書き込んだりすることで、自分の考えを書いて表現する力は身に付いてきました。発表して自分の考えを表現することには抵抗感を持つ児童が少なからずいるため、小グループでの話し合い活動を取り入れながら、表現活動の充実を図っていきます。

※外食時に、今までは人見知りだったが自分から店員さんに話しかける場面があり、成長を感じられた。

〔家庭学習〕

肯定的回答の割合は高くありませんが、児童、保護者、職員全てにおいて昨年度より増加したのは、大きな進歩と捉えています。家庭学習の習慣化は学力の定着に大きく関わります。学校では、家庭学習の時間の目安を「学年×10分+10分」としています。ご家庭でも、励ましの声かけをお願いします。児童が計画的に進められるよう、各学級で家庭学習の進め方を丁寧に指導したり、工夫して取り組んでいる家庭学習ノートを紹介したりして、引き続き学習意欲の向上につなげていきたいと考えています。今後もご家庭との連携を更に深めて、家庭学習の習慣化に努めてまいります。

※いつも自宅で宿題をしていません。学校で終わらせてきているからと言っています。家庭で勉強する姿があまり見受けられないので、自宅で宿題をする分を出していただきたいです。(同様意見1)

※自主学習として冬休みにドリルを持って帰ってこなかったりと自学で何に取り組んでいいかわからない様子でした。長期休みには振り返りとしてドリルを持たせた方がいいと思いました。

〔PC活用〕

一人一台のPC端末が配備され、授業の中で「文房具のように使う」ことが定着しました。職員も研修を通して活用の幅を広げています。インターネット検索で調べ学習をしたり、写真を取り込んで新聞を作成したりするだけでなく、eライブラリやデジタル学習コンテンツを活用して、児童の学力向上や学習内容の定着にもつなげています。今後は、授業でどのように活用してどのような効果が得られたのか、学年だよりやホームページを利用して保護者へ周知してまいります。

※タブレット学習での宿題を見ていましたら、操作など技能が高くなっていることに驚き、嬉しく思いました。(同様意見1)

※タブレットパソコンは使い次第。調べて終わるのみは学力向上にはならない。今風でかつこよく、見掛け倒しで勘違いしてしまいがち。(同様意見1)

〔読書〕

質問項目の中で、肯定的回答が一番低い結果となったのは「読書」です。それでも、保護者の肯定的回答が、昨年度に比べて5.4%増加しているのはよい傾向と捉えています。児童にとってPC端末が身近なものとなり、文字を読むことよりも映像で見ることの方が多くなっていると推察されます。文字離れが進まないよう、学校では、読書手帳の配付や読書賞の表彰、ビブリオバトル等を継続して行ってきました。食育推進として、給食の時間に教員が絵本の読み聞かせを行ったことも、興味・関心を高める一助となっています。今後も、本を読む時間を設定したり、読んでほしい本の紹介をし合ったりする等、様々な工夫をしていきたいと思えます。

※音読を続けさせるのは難しいなあと思いました。続けさせるために、すごろくみたいなスタンプを押したり、何か子供たちが楽しんで出来る形があればいいかなと思いました。本好きの子は自然とできるのかもしれませんが本を読まない子はきっかけや楽しく続けられるものがあるとハードルが下がるかもしれません。

〔教育相談・生徒指導〕

学校では、いじめ等実態調査を実施し、早期発見・早期解決に努めてきました。「相談することがない」と記載している児童についても、教育相談期間等を活用して面談し、気になることや悩んでいることはないか等の確認をしています。また、児童の日常の様子や会話等から、些細な変化を見逃さないよう実態把握に努めてきました。しかし、職員と児童・保護者の肯定的回答に差があることは今後の課題です。悩みを書いて投函できる「うめっ子ポスト」や悩みを相談できるスクールカウンセラー等の周知に努め、児童と保護者が安心して相談できる環境を整え、組織的な対応を今後も推進してまいります。

※担任の先生には大変お世話になり、悩んで帰ってきても連絡帳に記載すると迅速に対応してくださり、子ども楽しく通っております。

※担任→保護者の報告、連絡、相談が十分にされていないと思えます。学校から帰ってきて子どもの様子が違う時も本人から話は聞きましたが特に連絡はなく、後から違うきっかけで先生から話を聞いて、その時の事実が分かることもありました。(同様意見1)

〔自他の肯定〕

児童、保護者、職員ともに高い肯定的回答が得られました。今年度は、様々な行事を計画通りに実施することができ、それらの行事を通して、目標に向けて努力すること、友達と協力すること、自他の良さを認めること等を体験できるよう取り組みました。また、150周年記念行事を行う中で、保護者や地域、関係機関等とのつながりに気付いたり、南部小学校の一員としての自覚を持ったたりすることができました。今年度6月に実施した学級の雰囲気や友達関係が見取れる「Q-U調査」を行うことで、子ども達一人一人に応じた声かけや支援もしてきました。

※集団生活から外れた子はグレーゾーンや発達障害の枠に入れられるのも今の時代なのかもしれないけど、個性としてもっと一人一人を伸ばしていく余裕を先生や親が持つべきなのでは・・・と思えます。

※いつも暖かく見守って頂き感謝しています。この一年、先生とお友達に恵まれ楽しく通うことが出来ました。毎日連絡帳で、コメントを頂き成長を実感できました。時には厳しく、またできたことはたくさん褒めて頂き自信を持つことも覚えました。ありがとうございました。

〔運動〕

運動の機会は昨年度より増え、職員と児童の肯定的回答は高くなっています。南小運動会や校内持久走大会等の体育的行事では、表現運動や陸上運動に積極的に取り組んでいました。体育の授業では運動量を確保した

活動を引き続き取り入れ、児童の体力向上に努めています。しかし、保護者が望む姿には少し遠いようです。体育の授業や体育的行事はもちろんのこと、休み時間等に外で体を動かすことも奨励してまいります。

※コロナ禍であるとはいえ、水泳の授業が少ないと思う。

※中学生になるに向け、本人が自主的に運動する習慣を身につけていってほしい。

〔早寝・早起き・朝ごはん〕

職員の肯定的回答が昨年度を大きく下回りました。生活スタイルの多様化により、難しい面もあるかと思いますが、オンラインゲームや携帯電話の普及による夜更かしや睡眠不足、朝起きれないことによる朝食抜きや遅刻などが課題として挙げられます。児童の健やかな成長の基本として非常に大切なことですので、各家庭と協力しながら取り組んでいきたいと思っております。学校でも、担任からの指導・支援だけでなく、養護教諭や栄養教諭と連携した健康教育を実施する等、子供たちの健康管理に努めてまいりますので、今後もよろしく願いたします。

〔防災・防犯・交通安全〕

今年度も、ワンポイント避難訓練を定期的に行いました。掃除の時間や休み時間など、教室を離れているときにもワンポイント避難訓練を実施することで、子供たちが自主的に考え、行動できるようになりました。しかし、登下校中には、友達同士でふざけ合って道路に飛び出したり、線路内の氷をつかもうとして踏切内に留まるなど、大きな事故につながりかねない危険な場面が見られました。交通安全や不審者対応については、引き続き課題意識を持って取り組んでまいります。

※子供たちが横断歩道で車が止まってくれるのを待っている時、車道ギリギリに立っている事がとても多いです。手を挙げて待っていても止まってくれる車ばかりではなく、子供たちのギリギリを早いスピードで通り過ぎていく車も多いので、とても危ないです。今一度、子供たちを注意して頂けたらと思います。

〔情報発信〕

保護者の方からは、高い肯定的回答を得ることができました。学校ホームページやマチコミメール、紙資料等を活用して、迅速に情報を提供するよう努めてきましたが、内容が分かりやすいものとなっていたか、保護者のニーズに応えられていたか等については、今後も検証してまいります。昨今は、学校だより等のお便りを紙資料で配付することから、インターネット配信へ切り替わってきています。学校の様子が伝わるよう学校だよりや学年だより、学校ホームページ等の充実にも努めながら、配信方法についても検討してまいります。

※次月の予定表のプリントが遅いと感じる時があります。(特に部活の予定表)(同様意見1)

※ホームページがあまり活用されていない。もっと他校のようにいろいろアップして欲しい。(同様意見3)

※学級通信、学年だより、行事予定などの配付物をマチコミから見られるようになるとありがたいです。

(同様意見2)

～その他のご意見(自由記述欄)～

学校、学年、学級経営やPTA、市の体制等に係ること

※学校経営について

- ・授業参観を学年が変わる前にやってもらえたら嬉しいです。入学の頃とどう変わったか見たいです。
- ・荷物が重そうなので家庭学習以外で置いて可能な教科書類は学校に置けると負担が少なく登下校できそうです。
- ・健康観察カードの保護者印は意味がないと思います。朝は出勤支度で忙しいので無くして欲しいです。給食当番の時は、忙しく手を事前に洗う時間が無いと言っていました。給食当番こそ手洗いを徹底させて欲しいです。
- ・健康観察カードの必要性の有無を検討して頂きたいと思っております。
- ・担任の先生が途中交代して心配しましたが、子どもは全く嫌がることもなく毎日通えたので、本当に安心しています。先生方のおかげです。心から感謝しています。ありがとうございました。
- ・書道の展示、自由研究の展示で保護者が見れる時間が短く、どうしても仕事があると間に合わない。子どもたちの日頃の頑張りをを見たいという気持ちもあり、先生方の都合もあるかと思うと心苦しく、大変申し訳ないですが、もう少し時間を伸ばしていただけると助かります。
- ・産休、育休、療休、看護休、介護休等でクラス担任が1週間以上休む場合には保護者にも連絡がほしい。期間や簡単な理由等プライバシーに障らない程度でよいので教えてほしい。

〔回答〕

- ・児童の携行品についてですが、主要教科(低学年…国・算、中・高学年…国・社・算・理)の教科書、ノートについては、予習復習の重要性及び充実した家庭学習への取り組みを考慮し、原則毎日の持ち帰りとしています。ただし、発達段階等に応じて、柔軟に対応してまいります。また、いただいたご意見を参考に、授業で用いるその他の教材、学用品や体育用品等が過重にならないよう工夫してまいります。
- ・コロナ感染症対策につきましては、今後も教育委員会等の方針に沿って適切に進めてまいります。コロナ感染症が終息していない現状から、各家庭で体温等の把握に努めて頂き、体調が良好であると判断した上での登校をお願いいたします。学校でも、児童の健康・衛生状態の把握に努めてまいります。
- ・書道等の展示時間につきましては、コロナ感染症の状況や学校の施設時間との関係を考えて設定しています。授業参観日や学校ホームページ等で児童の頑張っている姿を見て頂けるよう今後も工夫していきます。

※教育課程(各種行事含む)について

- ・クラスでの特定の児童同士による揉め事がとても多いと子供から毎日報告を受けます。揉め事が起こる事によっ

て授業の中断が多いようで授業の遅れが出ているのではないのか心配です。担任の先生はその都度、適切な対応をしてくださっているようですが・・・。

- ・コロナ禍での行事は大変かと思いますが、もう少し行事の内容を充実させてほしいです。コロナ4年目になりますので基本的対策をした上で普通のプログラムに近づけてほしいです。
- ・漢字テストなど前もって教えてくれたのはよかった。事前にテストの日にはちや単元を教えてくれると目的意識を持って親子で学習に取り組める。
- ・今年は150周年のイベントもあり、子供たちにとっても思い出に残る出来事となったことと思います。いつも愛情いっぱいのご指導、ありがとうございます。
- ・コロナ禍の制限がある中でも、少しずつ行事が回復してきたことを嬉しく思います。(同様意見2)
- ・着衣泳の授業は学ぶ事が多かったようなので、この先も是非続けてほしいです。

[回答]

- ・**授業内容や児童の発達段階によって、グループ活動が多くなったり児童が興奮したりすることがあります。児童同士のトラブルの内容によってはその場で指導することもあります。授業への理解や進度の遅れがないように毎週時間割の調整を行っております。しかし、それを嫌だと感じたり授業内容が理解できなくなったりすることがあるかと思っておりますので、担任やスクールカウンセラー等に遠慮なくご相談ください。**
- ・**運動会や校外学習等の各種学校行事については、今後も感染防止対策を施しながら、安全に実施してまいります。また、子ども達にとって有意義な活動となるよう、今後も創意工夫に努めてまいります。**

※その他

- ・学校はすごく楽しくて、毎日帰ってきてからも学校での出来事をたくさん話してくれていたのが安心していました。(同様意見1)
- ・先生方の子供たちへのご尽力に大変感謝しています。(同様意見16)
- ・クラスルームの連絡帳にアップされるのが遅かったり、後から追加されたりという事があると困ります。特に宿題などは書いてなかったものが追加されていると子どものやる気が損なわれてしまい、また気持ちを向かわせるまでが大変でした。
- ・子供が、同じクラスの女の子から、人の見ていないところで「お前」と呼ばれると聞いて驚いた。他人に対する態度や最低限のマナーなど、各家庭に学校側から呼びかけてもいいと思う。
- ・年に1、2回の水泳授業のために水着を購入するのは不満を感じる。成長期であるため毎年買い替えないとならない。近隣の小学校では制限ありで、一般の水着でも良い所もある。また、水着を購入するにあたって、何故スカートタイプのはダメなのですか？古い通常の水着の方が最近ではお店で探すのが大変になっています。ご検討してほしいです。
- ・冬場の体育の服装も、低学年の時は南小ジャージのみ着てOK、中学年の時はなんでもOKなどと毎回変わるので何を購入すればいいか迷います。
- ・学校職員の方への負担も考えると、土曜授業を無くすことは可能ではないのでしょうか。子供も土曜授業のある週はモチベーションが下がり、嫌だなという言葉が多く聞かれます。土曜授業に必要性を感じられません。(同様意見5)
- ・毎回授業に出席し参加しているにも関わらず成績に最低評価の1がつくのはどうかと思う。だとしたら出席してもしなくてもやってもやらなくても変わらないのでは。と、子どもの意欲が下がる可能性がある。もし本人の提出物に不備があったり態度等にかんがりの改善が必要な場合は前もって保護者に伝えてほしい。それでも直っていない場合は、1がついても仕方がないと思う。
- ・部活動のプリントにゼッケンの付け方や着方などの例を書きいただければよかった。
- ・PTA活動や、朝の交通指導やパトロールの方法などを見直す必要がある。現代では共働きや女性の仕事の活躍が多く、昭和から変わらないPTA活動に疑問を感じる。子供を守るため、子供のためにやるべき事はやりつつ、その方法を変える事でWin-Win社会に変化していかないと時代錯誤の小学校になってしまう。(同様意見4)
- ・子供たちを叱る際、言葉遣いの悪い先生がいます。悪い事をした時に叱るのは構いませんが、言葉遣いには気を付けてほしいです。話し方、言葉遣いが子供のお手本になるのではないのでしょうか。
- ・いつまでも子供との信頼関係を築けないのは不信感につながる。誤学習になっている事に気が付いていない。他の子に、「あの子の指導は疲れる」と愚痴をこぼすのもどうかと思う。結局、それを聞いた子供から親に回ります。そして、親との信頼関係も失います。
- ・担任の先生から怒られる事はあっても、褒められた事が一度もないみたいで、子供を教育していく上で、そういうのはどうかと思う。授業を聞かない、やらないという事があったとしても、聞かせる、やらせるのが教育者なのでは？仕事なのでは？と思う。

[回答]

- ・PTA活動については、保護者の負担が過重にならないよう、いただいたご意見を参考に、PTA本部役員と相談しながら進めてまいります。
- ・教職員について、様々なご意見をいただきました。教職員全員が、一人一人の子ども達に寄り添って指導しておりますが、まだまだ至らない部分があるかもしれません。今後も、教職員一人一人の資質・能力を向上させるとともに、学校全体で子ども達を支援していける体制を構築してまいります。
- ・土曜授業に関しては、子供たちにとって有意義な時間となるよう、楽しい行事や分かりやすい授業づくりに努めてまいります。
- ・連絡帳の電子化については、3年生が試行的に取り組んでいます。黒板に書かれた内容を連絡帳に書く活動を大切にしている学年もあり、全校で取り組むまでには至っていないのが現状です。保護者のご意見を参考にして、分かりやすく使いやすい連絡帳を目指してまいります。
- ・成績に関しましては、評価基準に沿って、学習への取り組み方や学習態度、テストの点数などをもとに総

合的に判断しております。児童の目標や課題を保護者と共有し、改善に向けて取り組んでいけるよう努めてまいります。

お忙しい中、学校評価への回答、貴重なご意見をありがとうございました。一つ一つ真摯に検討し、学校運営、教育活動に活かしてまいります。今年度は全体会を開催しないため、こちらの書面での報告となります。